

# わたしの平和宣言

- 1 日時 令和5年 10月13日(水) 5校時 13:00～
- 2 場所 体育館小アリーナ(男子:12名, 女子:9名, 合計21名)
- 3 ねらい 平和について学習した内容をもとにPR動画を作成し, 専門機関等に発信するという活動を通して, 自分自身にとっての平和について考え, 実生活に生かすことができる。
- 4 題材名 わたしの平和宣言  
学校行事(4) 旅行・集団宿泊的行事
- 5 題材について

## (1) 題材設定の理由

本題材は, 平和に関する専門機関等にPR動画を送る活動を通して, 自分自身にとっての平和を考え, 実生活に生かすという目標を掲げている。学習指導要領特別活動第3章〔学校行事〕(4)旅行・集団宿泊的行事の目標である, 「平素と異なる生活環境にあつて, 見聞を広め, 自然や文化などに親しむとともに, よりよい人間関係を築くなどの集団生活の在り方や公衆道徳などについての体験を積むことができるようにすること。」に係る題材である。

修学旅行の事前学習で広島や長崎で78年前に起きた出来事を調べたり, 被爆者の方の話を聞いたりした後, 長崎県の平和公園を訪れ, 献花や黙祷, 観光客の方に自分たちの考えを伝え, 意見をいただく中で, 考えをさらに深めるといった学習を行う。また, 学習を進めるにあつて, 現在の世の中の情勢や過去に起きた事柄を関連付けながら, 「学級の中で相手に優しく接したり気遣ったりする」「家庭の中での当たり前は平和が前提として成り立っていることに気付く」等, 自分自身の周りにある平和についても考える場面を設ける。

これまでも平和学習は実施しているが, 平和に対して自分たちが考えたことを他者に広く発信する活動は行っていない。生徒が自らの意見を発信したり, その意見をもとに他者と交流を行ったりすることで, 平和についての考えが深まると考えられる。そこで, 自分自身にとっての平和について作成したPR動画を修学旅行先で観光客の方々などに見ていただき, 平和への思いやPR動画に関する意見を収集する。また, 盈進高等学校のヒューマンライツ部との交流も実施し, 平和学習や人権に関する資料提供をいただいたり, PR動画作成に向けたグループごとの意見交流会をしたりして, 平和に対して多面的・多角的な考えに触れる取組を継続して実施する。そうすることで, 自分たちの考えがより一層深まり, グループごとに決めた専門機関等に自分たちの考えた平和への思いをより明確に伝えることができると考える。このような活動を通して, 自分事として考え, 自他を大切に生きていこうとする思いをもつことができると期待している。また, 本題材における学級活動や平和学習を通して, 自分たちの日常生活が平和につながっているということに気づき, 学校生活で自分や他者を大切にする言動をとるなどの意識を高めたい。

このような学びは, 上下中学校で定めている「人権尊重の精神をもって, 自らの生き方や行動について考える態度を育てる」という人権教育重点目標に向けた生徒の育成につながると考える。

## (2) 生徒観

上下中学校アンケートの結果は下記のとおりである。(%)

質問項目	とても そう思う	そう思う	肯定的 評価	あまり そう思わない	そう思わ ない
みんなで協力し合って、よりよい学級や学校を作ろう としている。	57.9	36.8	94.7	5.3	0
授業では、自分の考えとその理由を明らかにして、相 手に分かりやすく伝えるように発表を工夫している。	22.0	45.4	67.4	26.0	6.6
授業では、情報を比べたり、仲間分けしたり、関係を 見付けたりして、何が分かるのかを考えています。	20.2	45.1	65.3	27.9	6.8
授業で考えたり提案したりしたことについて、実際に 取り組んでいます。	21.9	45.9	67.9	26.6	5.5
平和について考えたことを実生活に生かしている。	73.6	26.4	100	0	0

本学級の生徒は、普段の授業から話し合い活動で考えを深めたり、広げたりすることができる集団である。そのため、協力し合いながらよりよい学級として生活していこうとする姿も見られ、学校行事に向けても真剣に取り組んでいる。しかし、自分の考えとその理由を明らかにして、相手に分かりやすく伝えるように発表を工夫している生徒の割合は、67.4%となっている。グループで話をする中で考えを深めることはできているが、相手に分かりやすく伝えるような工夫をすることに難しさを感じている生徒が複数いることも実態としてあげられる。平和学習については、「友達が落としたものを拾ってあげている」、「友達が困っていたら助けるようにしている」「『ありがとう』を伝えるよう心掛けている」等、考えたことを実生活に活かしていると回答しているため、自分たちにとっての平和について他者との交流を重ねる中で、さらに考えを深めることができると考える。自分自身にとっての平和の記述が学習前後で同じであっても、理由などの変容から生徒の考えの深まりにつながる。また、授業で比較、分類、関連付けをしながら考えることにも課題がある生徒が多いことも結果から分かる。思考ツールなどの効果的な活用が不十分であることが理由として考えられる。授業で考えたり提案したりする中で、実際に取り組んでいるという項目に関しては、肯定的な回答をした生徒は67.9%いるが、「とてもそう思う」と答えている生徒は21.9%と少ないことから課題がある生徒が複数いることが分かる。以上のことから、次の3点に課題があると言える。

- 〈1〉自分の考えを主体的に発信する力
- 〈2〉情報を比較、分類、関連付けをして、相手に分かりやすく伝える力
- 〈3〉考えたり提案したことを自分事として捉え、取り組む力

## (3) 指導観

- 〈1〉「自分の考えを主体的に発信する力」の育成のための手立て

平和学習を進める中で、自分自身にとっての平和について深く考え、主体的に発信する力を育てるために「平和について発信して自分自身にとっての平和について考えよう」というパフォーマンス課題を設定する。その中で、発信方法について生徒たちが話し合う機会を設けることにより、生徒が主体的に取り組むことができるようにする。題材を通して、平和について考え、実生活での活用も考えることができるポートフォリオの利用も同時に行う。PR動画作成にあたっては、地域や国際社会の平和と人権について考え、活動を行っている盈進高等学校のヒューマンライツ部協力のもと、自分自身にとっての平和をより他者に分かりやすく伝える工夫を取り入れる。発信に向けた取組を実施する段階で、PR動画以外の方法も取り入れたいという意見が出ることも考えられるため、発信方法を固定化することなく学習を進めていく。

〈2〉「情報を比較、分類、関連付けをして、相手に分かりやすく伝える力」の育成のための手立て  
 本題材では、自分自身の平和についてより深く考え、他者により分かりやすく伝えるための工夫をするためにICTを活用する。ICTの効果的な活用方法としては、平和に関する動画を視聴し、ロイロノートでクラゲチャートを用いた協働的な学びや全体交流、盈進高等学校のヒューマンライツ部との交流、動画作成に向けた情報収集などである。また、自分自身が考える平和をより分かりやすく伝えるための工夫を理解させた上で、PR動画等の作成に向けた学習を進める。

〈3〉「考えたり提案したことを自分事として捉え、取り組む力」の育成のための手立て  
 平和学習の中で、1枚ポートフォリオ「私の平和宣言～平和について考え、伝えよう～」を活用し、自分の考えや気持ちの変容を可視化できるように記入させる。学習過程で考えたことや他者への提案、専門機関等へ発信したことを自分事として捉え、実生活へつなげることで、身近な生活と平和が深く結びついていることにも気づかせたい。そのために、学級以外の方々との関わりによって得ることのできる多様な意見から、平和に対する自分の考えをさらに深められるようにする。

## 6 本題材で育てたい人権教育の3つの側面

資質・能力	目指す生徒像
知識的側面	・ 伝承者の方からの講話や調べ学習を通して人権の発展・人権侵害等に関する歴史や現状に関する知識を得ている生徒
価値的・態度的側面	・ 正義・自由・平等などの実現という理想に向かって活動しようとする意欲や態度のある生徒 ・ 社会の発達に主体的に関与しようとする意欲や態度のある生徒
技能的側面	・ 能動的な傾聴、適切な自己表現等を可能とするコミュニケーション技能を取得している生徒

## 7 育成を目指す資質・能力

- 自ら考え、主体的に活動する力
- 自分の考えを相手に分かりやすく伝える力
- 自分事として捉え、実生活で取り組む力

## 8 題材の評価規準

	よりよい生活を築くための知識・技能	集団や社会の形成者としての思考・判断・表現	主体的に生活や人間関係をよりよくしようとする態度
評価規準	豊かな自然や文化・社会に親しむことの意義を理解している。校外における集団生活の在り方、広島や長崎で起きた出来事について知識を身に付けている。	旅行・集団宿泊的行事において学校生活や学習の成果を活用できるように考え、自分事として捉えることで、実生活で実践している。平和学習を通して、考えたことなどを分かりやすく伝えている。	日常とは異なる環境や集団生活において、自然や文化・社会に親しみ、見通しをもったり、振り返ったりしながら、新たな視点から学校生活や学習活動の意義を考えようとしている。

9 一連の活動と評価

	学習内容	評価	学園の資質・能力との関わり ●言★情■問
		評価規準 【評価方法】	
学級活動	<p>●本題材のパフォーマンス課題の提示</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>平和教材を活用して、平和について考える。</li> <li>「平和についてのPR動画を作成し、専門機関等に発信する」という活動を通して、自分自身にとっての平和について考え、実生活に生かすという目標をもつ。</li> </ul>	思・態【観察・ワークシート】	
	<p>●PR動画を送付する機関を決定や動画視聴</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>アンケートをとり、グループ分けを行う。</li> <li>平和に関する動画の視聴し、イメージをもつ。</li> </ul>	思・態【観察・ワークシート】	
	<p>●被爆者の方の講話や広島や長崎の平和学習の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>被爆者の方に来校していただき、講話を聞く。</li> <li>広島や長崎で起こった出来事について、動画を視聴したり、調べ学習をしたりする。</li> </ul>	知・思考【観察・ワークシート】	★情
	<p>●PR動画のテーマ決定や今後の計画確認</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>送付する機関に沿ったPR動画のテーマを決める。</li> <li>盈進高等学校のヒューマンライツ部との交流の中で、人権や平和に関する学習を行う。</li> </ul>	思・態【観察・ワークシート】	●言
情報の収集／整理・分析／まとめ・表現	<p>●平和に関する動画を視聴し、分析をして方向性を確認</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>思考ツールを用いて、動画を分析する。</li> <li>分析した動画の工夫点をもとに、今後の見通しをもつ。</li> </ul>	知・思・態【観察・ワークシート】	●言
	<p>●PR動画の作成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>グループで協力して説明文と動画を作成する。</li> <li>各グループのPR動画について、自己評価・相互評価を行い、改善を行う。</li> </ul>	思・態【観察・ワークシート】	●言 ■問
学校行事	<p>●PR動画の交流・改善案の確認</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>修学旅行での交流をイメージし、授業参観者へ動画を視聴してもらう。</li> <li>授業参観者の意見について、グループや全体で確認し、改善案を全体で共有する。</li> </ul>	思・態【観察・ワークシート】	●言 ■問
	<p>●PR動画の修正</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>修学旅行中に提案するPR動画について、前時の意見をもとに修正する。</li> </ul>	思【観察・ワークシート・動画】	●言 ■問
	<p>●修学旅行で訪れる「長崎平和公園」で観光客の方々に対するPR動画の提案と平和についての意見交流</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>PR動画の改善点や平和に関する意見をいただき、平和に関する自分自身の考えを深める。</li> </ul>	態【観察】	
帰りのSHR	<p>●盈進高等学校のヒューマンライツ部と動画に関する意見交流や動画の改善</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>盈進高等学校のヒューマンライツ部と互いに作成したPR動画の意見交流会を実施する。</li> <li>ヒューマンライツ部で行っている平和や人権に関する取組を教えていただく。</li> </ul>	思・態【観察・動画】	●言 ■問

学級活動	●完成した動画の視聴・振り返り ・グループで作成した動画を全体で視聴する。	思・態【観察・振り返り】	
帰りのSHR	●専門機関等へPR動画を送付 ・専門機関に動画を送付するための準備を行う。 (DVDに添える説明文など)	態【観察】	
学級活動	●専門機関等からの回答の確認・振り返り ・動画に対する返事が来た場合は、生徒に内容を伝える。 ・ポートフォリオに学習後の自分の意見を記入し、学習前との変容を可視化する。 ・「わたしの平和宣言」を記入し、自分事として平和について考え、実生活に落とし込んで考える。	思・態【観察・振り返り】	●言 ■問

#### 10 本時の展開

- (1) 本時の目標 修学旅行の平和記念公園で実施する交流をイメージした活動を行い、PR動画の改善の見通しをもつことができる。
- (2) 準備物 ファイル(ワークシートなど)、1枚ポートフォリオ、クロムブック
- (3) 本時の展開

段階	学習活動	指導上の留意事項◇ 支援が必要な児童に対する手だて◆	○教科・評価方法【】 ☆学園の資質・能力
導入(5分)	1 各グループで作成したPR動画のテーマについて確認する。  ・電子黒板に動画を送付する専門機関を提示する。 ・テーマと伝えたい内容を表示して再度確認する。	◇各グループのPR動画のテーマについて電子黒板を用いて確認する。  ◇PR動画のテーマ設定の理由を全体で確認する	

2	本時のめあてを確認する。	◇電子黒板にめあてを提示する。
平和記念公園での交流をイメージした活動を行い、動画改善の見通しをもつことができる。		
3	<p>各グループで役割分担の確認をし、PR動画の紹介を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・役割分担を確認する。</li> <li>・全体交流の流れを確認する。 (参観者へ交流の視点を伝える。)</li> <li>・PR動画の紹介をし、改善内容のメモをとる。</li> </ul>	<p>◇交流の手順について説明する。 ◇参観者へ交流の視点を示す。 ◇役割を明確にし、平和記念公園での交流をイメージさせる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px;"> <p>○3人の場合</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・クロムブック係</li> <li>・説明文係</li> <li>・メモ係</li> </ul> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px;"> <p>○4人の場合</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・クロムブック係</li> <li>・説明文係</li> <li>・メモ係(2人)</li> </ul> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px;"> <p>◎人権教育との関わり</p> <p><b>【技能的側面】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・他者に対して、適切な自己表現等を可能とするコミュニケーション技能</li> </ul> <p><b>【指導のポイント】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・役割を明確にし、修学旅行で訪れる平和記念公園での交流をイメージさせる。</li> </ul> </div>
<p>◎授業の流れについて</p> <p>動画作成の流れを生徒自身が考えているため、授業の流れが各グループで異なる場合があります。</p> <p>※主体的な活動を促すため。</p>	<p>交流の流れ</p> <p>①参観者の方への声かけ(クロムブック係)</p> <p>②PR動画の説明</p> <p>説明文係：動画再生前にテーマを説明、意見交流 クロムブック係：動画の再生 メモ係：意見をワークシートへメモ</p> <p>※3回は交流する(早く終わった場合は続ける)</p> <p>1回ごとに役割を変更する</p>	
	4	<p>PR動画を用いた意見交流から、改善についての見通しをもつ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・個人思考</li> <li>・改善に向けた交流をグループや全体で行う。</li> </ul>
<p>◎人権教育との関わり</p> <p><b>【価値的・態度的側面】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・社会の発達(平和)に主体的に関与しようとする意欲や態度</li> </ul> <p><b>【指導のポイント】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・見通しをもつ際には、動画作成に関する技能の視点ではなく、平和に関する動画の内容の改善であることを確認する。</li> </ul>		

展開(40分)

	<p>5 各グループの動画を流し、改善の見通しを全体で交流する。</p>	<p>◇動画を流しながら、改善箇所や理由を全体で交流させる。 ◆ワークシートの記入方法について、机間指導をしながら確認する。</p>	
<p>振り返り (5分)</p>	<p>6 本時の学習を振り返り、次時について確認する。 ・ポートフォリオに本時の振り返り等を記入する。</p>	<p>◇ポートフォリオを記入させる。 ◇次時の動画改善に向けた方向性をグループで確認させる。</p>	

11 板書計画

<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">めあて</div> <p>平和記念公園での交流をイメージした活動を行い、動画改善の見通しをもつことができる。</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin-bottom: 10px;"> <p style="text-align: center;">交流の視点（参観者）</p> <p style="text-align: center;">◎動画の内容（平和）に関する交流 ※動画作成に関する技法ではなく、内容に関する交流をお願いします。</p> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 30%;"> <p>○本時の流れ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・テーマ確認</li> <li>・PR動画交流</li> <li>・動画改善の見通し</li> <li>・全体交流</li> <li>・振り返り</li> </ul> </div> <div style="width: 30%;"> <p>○役割分担について</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <p>○3人の場合</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・クロムブック係</li> <li>・説明文係</li> <li>・メモ係</li> </ul> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>○4人の場合</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・クロムブック係</li> <li>・説明文係</li> <li>・メモ係（2人）</li> </ul> </div> </div> <div style="width: 30%;"> <p>○交流の流れ</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p style="text-align: center;">交流の流れ</p> <p>①参観者の方への声かけ（クロムブック係）</p> <p>②PR動画の説明</p> <p>説明文係：動画再生前にテーマを説明，意見交流</p> <p>クロムブック係：動画の再生</p> <p>メモ係：意見をワークシートへメモ</p> <p>※3回は交流する（早く終わった場合は続ける）</p> <p>1回ごとに役割を変更する</p> </div> </div> </div>
---	---